

●復活後第四主日

泉のほとり

今月の詩篇「第九八編」

とどろけ、海とそこに満ちるもの

世界とそこに住むものよ。



主イエスの愛の掬

「互いに愛し合いなさい」という主イエスの言葉を、これまで聞いたことのある人は多いでしょう。わたしも、何度もこの言葉について礼拝で語って来ました。でもこれを心して実践している人が、どれほどいるでしょうか。

主イエスはこれを「新しい掬」と呼ばれました。掬とは、ある集団に属する者が皆実行すべきことです。掬が守れなければ、集団から出て行くしかありません。

愛し合いなさい、というのが「愛する」とはどういうことでしょうか。日本では、相手を好きになることだと考えている人が多いです。でも聖書では、愛するとは相手のためになることをすることです。主イエスは、敵を愛しなさいと言われました。敵を好きになることはできません。でもその人のためになることをしてあげるので、具体的にはどうすればよいでしょうか。主イエスは他のところで、「自分がして欲しいと思うことを人にもしてあげなさい」と言っておられます。自分が誰かに話を聞いて欲しいと思ったら、人の話を聞いてあげる。一緒に遊んで欲しいと思ったら、一緒に遊んであげる。それが愛することです。教会の中で、役員や牧師に相談したり、悩みを聞いてもらう人は多いでしょう。でも役員や牧師の悩みを聞いてあげようと思う人が、どれくらいいるでしょうか。

今日の話の前に、主は弟子の足を洗ってくださいました。その時主は、弟子たちが互いに足を洗

い合うように、手本を示したと言われました。愛するとは、相手の汚れた足を洗ってあげることです。

教会で自分たちが大事に守ってきたものの中に、汚れた足で踏み込む人が時々います。そういう時に、皆さんはどうしますか。肩をひそめながら、何も言わないでしょうか。役員や委員が注意すべきだと言って人に役割を押しつけるでしょうか。それとも勇気を出して、汚れた足で来てはいけないと言って注意するでしょうか。でも主は、わたしがあなたの足を洗ったように、あなたもその人の足を洗ってあげなさい、と言われるのです。

主がこの掬の話を書かれたのは、裏切りを決定したユダが出て行った直後です。これから主にも弟子たちにも厳しい試練の時が来るのです。でも主はその時に、脱落者が出ないように絆をしっかりとつなぎなさい、とか、試練に耐えられるように心を強くしなさい、とは言われませんでした。愛し合いなさい、と言われたのです。この危急存亡のときに何とどのんきなことを、と思うでしょうか。でも危急存亡の時だからこそ、愛し合いなさい、と言われたのです。互いに愛し合う他に、この時を耐え抜く道はないと主は考えられたのです。教会にはいろんな問題が起こります。教会は他の方法ではなく、互いに愛し合うことによって、問題を乗り越えて行くのです。

平和の祈り

主よ、

わたしを、あなたの平和の道具に

してください。

憎しみのあるところに

愛の種を播くための道具に。

与えられた傷には赦し、

不和には一致、

疑いには信仰、

絶望には希望、

暗闇には光、

悲しみには喜びの

種を蒔かせてください。

どうか

慰められることよりも慰めることを

理解されることよりも理解することを

愛されることよりも愛することを求める

その心をお与えください。

なぜなら、わたしたちは、

与えることによって受け、

失うことによって見いだし、

赦すことによって赦され、

死ぬことによって、永遠の命に

生まれるのですから。

わたしたちの主、

イエス・キリストによって、アーメン

平野克己 「祈りのともしびーより」

アッシジのフランチェスコの祈り

今日のお知らせ

○礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーサーブイスがあります。また園舎二階のリズム室ではぶどうの会が開かれ、礼拝で受けた恵みの分かち合いをします。どうぞご参加ください。

○次週の第二礼拝後、久しぶりにハイデルベルク信仰問答を学ぶ会をします。今回は、問五五と五六を学びます。参加者はよく読んでご参加ください。

○今回の洗礼式と転入会式は七月二九日です。その時に受洗・転入会をご希望の方は、入信記を書いて、五月六日までに牧師宛ご提出ください。

○先週の教会総会で、菊池美穂子教師をキリスト品川教会副牧師として招聘する件が承認されました。その就任式を再来週二〇日のペンテコステ礼拝で行う予定です。ただ招聘が決定し、菊池教師も受諾しておられますので、教会としては、就任式前であっても菊池教師を副牧師として扱います。

○憩いのみぎわ第二〇五号が発刊されました。事務所のカウンターからお持ちください。

小さい子どものサムエルは

1 ちいさい 子どもの サムエル は、
2 ちいさい こゝろで きょうも また、

かみさまの よぶこえ ききました。
かみさまの よぶこえ きこえます。

「サムエル よ、 サムエル よ、
ほくのなまえも、 わたしの も。

(おわりに)
しもべは ききます。 主よ、
おはなしく ださい。 アーメン。

こころを一つに

1 こゝろを一つに
2 めがはか
3 わか

ろみわた
をのれ
ひ子ら
とたの
つちた
へまく
いじると
わわしつ
をりみに
もふをさ
とかうれ
め、め、
け、け、

主あそや
をいのの
あとも日
いまもが
すこのく
るとたる
あとのの
いそにを
あたいわ
かがのれ
るいら
くにをは
もちずの
やかてぞ
そう、も
おた、も

主わわす
はこれの
ぶらら
どのち
うきたり
のすが
みない
き、がに
わよま
れわこの
らまとか
そるの
のとあや
のえい
だも、を
おた、も

主つぎせ
はようか
わめだい
れていし
らくし
のだま
もさい
の、い、
わまど
れのもの
らあに
まいわし
のにけと
もよあし
のり、お
おて。

アーメン。

聖書の会へどうぞ

●朝の聖書の会(10時)

「イスラエルとアマレク」

出エジプト記17章8〜16節

宮岡 彰 氏

●聖書の夕べ(19時)

「救いの喜び」

詩編32編

菊池 美穂子 副牧師

ミニコンサート

5月17日(木) 12時30分

「クラヴィーアと

ヴァイオリンのためのソナタ

ト長調」他



次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌22番 ガリラヤの風

説教「真埋の霊が来られる」

聖書ヨハネ16章12節〜24節

説教者 黄允湜 副牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌152番 346番

詩編第144編

説教「この方が、わたしたちの主」

聖書ローマ一章1節〜7節

説教者 古村 知雄 牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 ちいさいこどもの

心をひとつに

説教 「喜びが満たされるために」

聖書 ヨハネ15章1節～11節 (新約P198)

司式 森 洋之兄

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「前奏曲」J.S.バッハ

○ 「ちいさいこどものサムエルは」

1. ちいさいこどもの サムエルは
かみさまのよぶこえ ききました
「サムエルよ サムエルよ」

2. ちいさいこえて きょうもまた
かみさまのよぶこえ きこえます
ぼくのなまえも わたしのも
「しもべはききます しゅよおはなしください」
アーメン

○ 歌とピアノによる讃美
「たえなるいのちの」聖歌 196

○ 讃美歌 21 393番 (3面に楽譜があります)

1. ころを一つに 平和を求め
主を愛する愛 明るく燃やそう
主はぶどうの幹、われらその枝
主はわれらのもの、われら主のもの
2. 恵みの子たちよ、交わり深め
愛とまこととを 互いに誓おう
われらのきずなが 弱まる時も
強めてください、主の愛により
3. 主はわれらのため 苦しみを受け
その友のために 命を捨てた
われらも互いに まことの愛を
兄弟姉妹と 共に分け合おう
4. 分かたれた民が 一つにされる
その日が来るのを われらは望もう
主の光を受け その輝きを
世界に示そう、主の弟子として

聖餐曲「メディテーション」F.メンデルズゾーン

後奏曲「アレグロ」A.ゲイグァルディ

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 151番 501番

詩編 第98編 (旧約P935)

説教 「喜びのはじまり」

聖書 マルコ1章1節～8節 (新約P61)

司式 森 洋之兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「アラブレーヴェ」J.S.バッハ

○ 讃美歌 151番

○ 歌とピアノによる讃美
「たえなるいのちの」聖歌 196

○ 聖歌隊による讃美

「主イエスは死に勝ちて」 G.J.マイ
主は死に勝ちて
主イエスはよみがえり給う
ハレルヤ ハレルヤ
主は死に勝ちて
主は死に勝ちて よみがえりぬ
ひとたび主は罪に死にて
ひとたび主は罪に死にて
父の神と 神と共に 永遠の
命に入らせ給いぬ
主は死に勝てり
ハレルヤ ハレルヤ

○ 讃美歌 501番

聖餐曲「アンダンテ」C.M.グイター

後奏曲「アレグロ」A.ゲイグァルディ

※礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎週お持ちください。